

2011年8月26日（金） 台湾市民大学全国促進会視察団との技術交流会

概要報告

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)事務局

台湾から市民大学全国促進会視察団（約20名）が来日し、市民による川づくりや合意形成に関わる話題を中心にJRRN事務局との意見交換会を行いました。

本行事の概要を以下にご報告させていただきます。

<プログラム>

- 台湾側より「市民大学全国促進会視察団と構成メンバー」の紹介
- 日本側より「(財)リバーフロント整備センター」及び「ARRN/JRRN」の概要説明
- 日本側より「川づくりと合意形成」について概要説明
- 台湾側より「高雄市・愛河再生に関わる市民活動」及び「台湾における官民連携」の概要説明
- 質疑応答

【1】開会挨拶（JRRN 事務局長・佐合純造）

- ・ 本日の意見交換会の趣旨説明
- ・ 東日本大震災に対する台湾からの厚い支援へのお礼



開会挨拶



視察団紹介

【2】市民大学全国促進会視察団と構成メンバーの紹介（台湾視察団代表・楊 理事）

- ・ 本視察団は、「社団法人地域大学全国促進会(NAPCU)」に所属する会員団体（約150団体）の有志メンバーで構成される。

→詳細（日本語）：http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/NAPCU_profile20110826.pdf

- ・日本における川での市民活動の取組みや行政との関わりについて学ぶことを目的に来日。今回の滞在期間中、NPO 法人 鶴見川流域ネットワーク（TR ネット）や NPO 法人 グラウンドワーク三島と交流し相互の活動を情報交換した。
- ・台湾では、各地に地域大学（市民大学、市民講座の様な活動団体）が存在し、地域の川づくりや街づくりに関わりながら、行政との協働や事業提案を行っている。



今回参加した団体とその活動拠点

【3】財団法人リバーフロント整備センターの概要説明（JRRN 事務局・後藤勝洋）

- ・組織概要説明（歴史・目的等）
- ・活動内容説明（調査研究・技術開発）
- ・技術普及や国際協力の紹介



説明様子

【4】ARRN 及び JRRN の概要説明（JRRN 事務局・和田彰）

- ・ ARRN/JRRN 設立経緯
- ・ ARRN/JRRN 活動内容説明
- ・ JRRN と台湾との交流実績紹介



【5】川づくりと合意形成についての概要説明（JRRN 事務局長・佐合純造）

- ・ 日本における「合意形成」の定義
- ・ 河川事業と合意形成の歴史
- ・ 河川法や河川整備の流れ
- ・ 川づくりにおける合意形成事例の紹介
- ・ 合意形成ツールの紹介



【6】高雄市・愛河再生に関わる市民活動等の紹介（高雄市綠色協会）

- ・ 愛河の歴史紹介（日本統治時代のきれいな川～産業成長期時代の水質悪化）
- ・ 愛河再生に向けた取り組み紹介
- ・ 観光地としても人気の現在の愛河の紹介
- ・ 更なる魅力ある川への挑戦（課題）
 1. 景観の更なる向上（コンクリートが目立たない川へ）
 2. 水源の確保（大河川からの導水提案等）
- ・ 愛河再生に向けた行政（高雄市政府）への市民提案
- ・ 台湾における河川管理の仕組み
- ・ 台湾における河川事業での住民参加の状況



説明の様子

【7】意見交換

(台湾視察団からの主な質問は次の通り)

- ・日本におけるダム事業のコスト、海水淡水化の有無、水道料金
- ・ダム事業と地域住民の合意形成について（地元が合意しなければ事業は前に進めないのか？）
- ・洪水防御策は、各地域ごとに個別の手法をとっているか？（計画規模など）
- ・地震や津波に対する予警報や観測体制について
- ・過去に計画された事業、現在実施されている事業の事業実施中の評価の制度について（計画の見直し等を含む）
- ・流域内での環境や農業など、行政区分が異なる事業の横断的連携について
- ・流域内での、上下流の合意形成の方法について 等々



JRRN 事務局（作成：2011.8.26）